

国際監査・保証基準審議会 (IAASB^{*}) における最近の取組について

2010年11月15日
国際監査・保証基準審議会メンバー
関口 智和

*: International Auditing and Assurance Standards Board (アイ・ダブル・エー・エス・ビー)

I. IAASBが開発する基準等

- ISA (国際監査基準)
- ISRE (国際レビュー業務基準)
- ISAE (国際保証業務基準)
- ISRS (国際関連サービス基準)
- ISQC (国際品質管理基準)
- IAPS (国際監査基準の実務ステートメント)



II. IAASBの取組方針

- IAASBは、2009年3月までに国際監査基準 (ISA) を大幅に置き換えるクラリティ・プロジェクトを完了。

2010年度以降、
多くの国でISAの
適用が開始(注)



ISAの適用状況のレビュー及び
監査以外の業務に関する基準
開発に作業の力点をシフト

(注) 世界126カ国で、ISAが採用又はISAをベースに基準開発。

(ISAの適用支援と適用状況のレビュー)



- E-learningツールの開発の他、中小企業の監査に関するQ&A等を公表(その他、IFACが、翻訳支援を実施)。
- ISAの適用状況を調査し、基準が意図された通りに適用されているか、改善点がないかについて、検討。

III. 前のご報告以降の主な公表物

- 2010年4月：ISAE3420「目論見書上のプロフォーマ財務情報の調製プロセスに係る保証報告」(公開草案 コメント期限：2010年9月)
- 2010年7月：ISA610「内部監査人の作業の利用」、ISA315「企業及び企業環境の理解を通じた重要な虚偽表示のリスクの識別と評価」の改訂(公開草案 コメント期限：2010年11月)
- 2010年9月：「重要性のある異常な取引又は極めて複雑な取引に関する監査上の留意事項」(スタッフによるQ&A)
- 2010年10月：IAPS1000「複雑な金融商品の監査」及びIAPSの位置づけの明確化等(公開草案 コメント期限：2011年2月)
- 2010年10月：ISRS4410「調製業務」の改訂(公開草案 コメント期限：2011年3月)

IV. 具体的な取組(1/2)

① 監査基準やガイダンスの開発・改訂

■ ISA610「内部監査人の作業の利用」等の改訂

→ 公開草案へのコメントを踏まえ、検討を予定

■ IAPS1000「複雑な金融商品の監査」の開発、IAPSの位置づけの明確化等

→ 公開草案へのコメントを踏まえ、検討を予定

■ ISA720「監査済財務諸表を含む文書のその他の情報に関する監査人の責任」の改訂

■ 財務諸表における開示項目に関する検討

■ 監査報告書について、見直しの要否を含め、検討

② 監査に関する上記以外の取組

■ IASBとのリエゾン、監査品質

IV. 具体的な取組(2/2)

③ 監査以外の業務に関する基準の開発・改訂

- ISAE3420「目論見書上のプロ・フォーマ財務情報の調製プロセスに関する保証報告」の開発
→ 公開草案へのコメントを踏まえ、検討を予定
- ISRS4410「調製業務」の改訂
→ 公開草案へのコメントを踏まえ、検討を予定
- ISRE2400「財務諸表のレビュー業務」の改訂
- ISAE3410「温室効果ガス情報の保証業務」の開発
- ISAE3000「歴史的財務情報の監査、レビュー以外の保証業務」の改訂
- XBRLを用いた財務報告への保証業務の検討
→ 利用者や規制当局のニーズ等を踏まえつつ、検討予定

V. 2012年以降のプロジェクト(案)

- クラリティ・プロジェクトで改訂がされなかった基準の見直し
- 四半期レビューに関する基準の明確化
- 合意された手続に関する基準の見直し
- 見込財務情報の調査に関する基準の見直し
- コーポレート・ガバナンスに係る保証に関する基準等の開発
- サステナビリティ報告に対する保証に関する基準の開発
- 銀行監督当局と外部監査人の関係や銀行の財務諸表監査に関するガイダンスの見直し



2010年12月に今後の3カ年計画について協議資料を公表予定